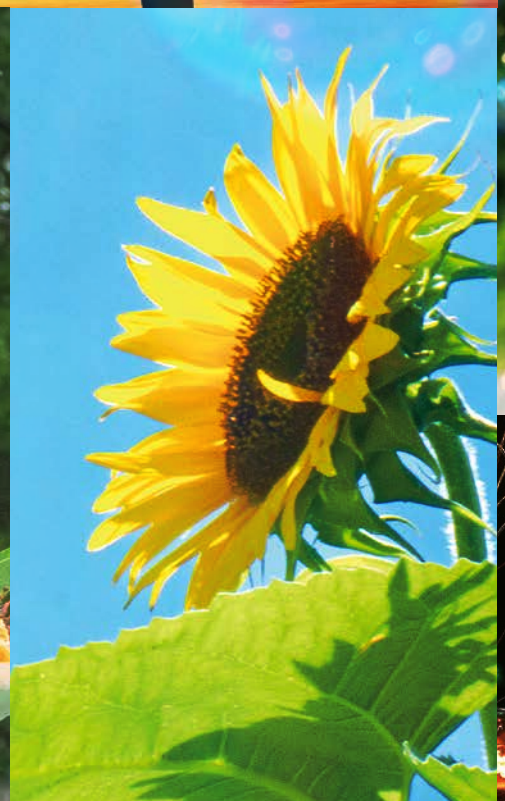
未来を照らす
光がここにある

山口県　光市

# ひかり、みらい

光市勢要覧



ふりそそぐ太陽

きらめく海

かがやく笑顔

未来を照らす光が

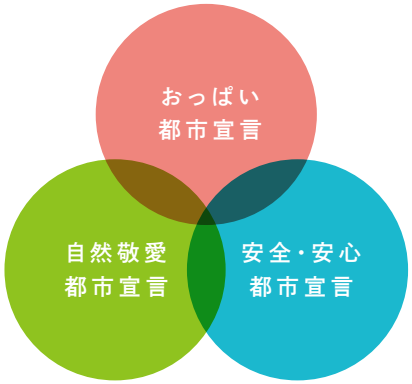
ここにある



CONTENTS

4：3つの都市宣言
6：愛情とぬくもりで「命」を育むまち
8：自然を愛し、自然と生きるまち
10：身も心も休まる安息のまち
12：ひかりの未来
14：HIKARI HISTORY
16：光市新市誕生20周年記念特別企画
　　角田光代氏インタビュー
18：Information
19：Access

山口県 光市




# 3つの都市宣言

×

＝

## 未来づくり

新市誕生から20年
普遍・不朽の3つの都市宣言を基調として
「まち」「ひと」「もの」の3つの視点から
かがやく未来につながる
光の魅力を紹介します

平成17年
6月30日
制定

# おっぱい
# 都市宣言のまち

1 私たちは、おっぱいをとおして、“母と子と父
そして人にやさしいまち光”をつくります 。

2 私たちは、おっぱいという胸のぬくもりの中で、
子どもをしっかりと抱き、
愛しみ、心豊かで健やかな輝く光っ子を育てます。

3 私たちは、すべての母親のおっぱいが、
より豊かに赤ちゃんに与えられるよう皆で手助けします。

4 私たちは、おっぱいを尊び、偉大なる母を皆で守ります。

「おっぱい」何と温かく、優しい言葉でしょう。「おっぱい」をとおした母と子の穏やかなふれあいは、真に生きる力を持つ、心豊かでたくましい若者を育ててくれることでしょう。

そして、この若者たちが“母と子と父そして人にやさしいまち光”で子育てを楽しみながら、このまちに住み、まちとともに輝くことを夢みて、ここ光市を「おっぱい都市」とすることを宣言いたします。

平成17年6月30日　山口県光市議会

平成18年
3月23日
制定

# 自然敬愛
# 都市宣言のまち

－美しく すばらしい自然を次世代へ－

わたくしたちのまち光市は、白砂青松の室積・虹ヶ浜海岸、市民や水鳥の憩いの場である島田川、また、原生樹林のある峨嵋山や神籠石のある石城山など、古来から先人たちが守り育ててきた水や緑の豊かな自然を有し、今日まで、はかりしれない多くの恵みを受け、健康で文化的な生活を築いてきました。しかし、現代社会がもたらした地球環境の悪化は、わたくしたちにとって、緑や生態系の破壊、異常気象など重大な問題を生じさせています。

わたくしたちは、こうした問題を深刻に受け止め、山や川、海の多様な生物の生態系保全とともに、自然と共生できる社会の実現に努める必要があります。そして、わたくしたち市民一人ひとりが光市の財産であるふるさとの豊かな自然環境を守り育て、次世代へ引き継がなくてはなりません。

美しい山・川・海を有するわたくしたち光市民は、その恵みに感謝し、自然を敬愛し、自然の摂理にかなった、快適でうるおいとやすらぎのあるまちづくり、ふるさとづくりを進めることを、ここに宣言します。

**1 自然の偉大さ、やさしさ、きびしさを知り、**
**自然に学びふれあい、豊かな心を育みます**
**2 美しい緑、清らかな水、さわやかな空気のもと、**
**ふるさとのかけがえのない自然を創意と工夫をもって守ります**
**3 自然を敬愛する心を養い、**
**はかりしれない 自然の恵みに感謝します**

平成18年３月23日　山口県光市

平成20年
9月22日
制定

# 安全・安心
# 都市宣言のまち

私たちのまち光市は、豊かな自然と人々の明るい笑顔があふれるまちです。ふるさとの息吹に包まれて、いつまでも健康で心豊かな暮らしを営むことは、私たち市民共通の願いです。

しかし、私たちの生活は、頻発する台風や集中豪雨、地震などの自然災害に加え、凶悪な犯罪や悲惨な交通事故、消費者被害など様々な危険や不安に脅かされています。

子どもからお年寄りまですべての市民の安全が確保され、安心して暮らせるまちを実現するためには、「光市安全安心まちづくり条例」の理念のもと、市民自らが様々な事件や事故に対する関心を高め、地域や家庭で力を合わせて、支えあいと助けあい、思いやりの精神に満ちた社会を築くことが大切です。

ここに、市民の英知と力を結集して安全で安心して生活できるまちづくりを進め、光市を「安全・安心都市」とすることを宣言します。

**1 地域の防災力を高め、災害に強いまちを目指します**
**2 犯罪や交通事故を未然に防ぐまちを目指します**
**3 安全な消費生活を実感できるまちを目指します**
**4 人権が尊重され、思いやりに満ちたまちを目指します**
**5 安全で安心できる生活基盤が整備されたまちを目指します**

平成20年９月22日　山口県光市

おっぱい都市宣言
自然敬愛都市宣言
安全・安心都市宣言

# 愛情とぬくもりで「命」を育むまち

目と目をあわせ、こどもを温かく抱きしめる
愛情豊かなふれあいの子育てを
お母さん、お父さんだけでなく、地域のみんなで進めています

## 子育てを地域全体で応援するまち

高校までの医療費無料化はもちろん、充実した子育てサークルやイベント、広々とした公園など、子育てしやすい環境が整っています。近所の方や保健師さんも気さくで、地域全体で子育てを応援してくれるステキなまちです。

市内の子育て世代　竜正ちゃんとその両親

ひかり
みらいづくり
メソッド

# おっぱい都市宣言

まち
づくり

## 2つの
## 産婦人科病院

2つの産婦人科病院があり、気軽に安心して利用できる場所で、家族もサポートする充実したサービスを提供しています。市内外から親子2代、3代で利用する方も多く、妊娠期からの支援や産後ケアなど、一人ひとりに寄り添い、安心してこどもを産み育てられる環境を整えています。

ひと
づくり

## 全国に誇る
## コミュニティ・スクール

平成26（2014）年に市内の全小中学校がコミュニティ・スクールとして指定されました。「15歳のめざす姿」を、学校、家庭、地域が共有するとともに、小中一貫教育とコミュニティ・スクールの取組を一体的に推進することで、切れ目なくこどもたちの学びや育ちを支えています。

もの
づくり

## 心身を育む
## おいしい給食

こどもたちの「食べる楽しみ」にこだわった学校給食センターには、全国でも珍しい製パン設備があり、山口県産の小麦粉と米粉を使った、焼きたてのパンを提供しています。地元の農産物を優先的に使用するなど、市内産食材の活用に努めています。

自然敬愛
都市宣言

安全・安心
都市宣言

おっぱい
都市宣言

# 自然を愛し、自然と生きるまち

**自然の偉大さや、やさしさ、恵みに感謝し、**
**環境の保全と共生に努め、守り育てることで、**
**うるおいとやすらぎのあるまちづくりを進めています**

## 豊かな自然を守り魅力を広めたい

大人からこどもまで環境美化ボランティア活動が盛んです。美しい自然を次の世代に引き継ぐとともに、市固有の植物「ニジガハマギク」をはじめとする自然の魅力を発信し、人が訪れたくなる光市に向けてさらに貢献していきたいです。

浅江中学校　長谷川さん

ひかり
みらいづくり
メソッド

# 自然敬愛都市宣言

まち
づくり

## 白砂青松の
## 室積・虹ケ浜海水浴場

海との距離が近く、プライベートビーチのようにゆったりとした空間が魅力の室積海水浴場と、駅に近接し、遠浅でこどもも楽しめる虹ケ浜海水浴場は、西日本屈指の美しい海水浴場です。約7kmにわたる白砂青松の海岸は、「快水浴場百選」や「日本の白砂青松100選」などにも選定されています。

ひと
づくり

## 地域に根付いた
## ボランティア活動

50年以上の歴史をもつクリーン光大作戦や地域の宝である松林の保全など、地域に根付いたボランティア活動により、豊かな自然が守られています。こどもから高齢者まで幅広い世代が協力して市内全域で活動することで、豊かな自然環境を守るとともに、ふるさとを愛する心を育み、地域の絆を深めています。

もの
づくり

## 豊かな
## 自然の恵み

温暖で穏やかな気候と山・川・海に囲まれた自然環境のもとで、米やイチゴ、ハモやヒラメ類など、私たちの食卓を彩る豊かな農林水産物が生産されています。近年では、こうした生産物を活用した商品を「光セレクション」として認定するなど、6次産業化や農商工の連携によるブランド化にも取り組んでいます。

# 身も心も休まる安息のまち

**自然災害や犯罪、事故、健康問題など、**
**身近な危険や不安から市民の暮らしを守り、**
**誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを進めています**

## 防災意識を育て安心して暮らせるまちへ

防災士として住民意識の啓発や自主防災組織の指導を行っています。また、市外のボランティアにも積極的に参加しています。防災・防犯活動を通して、より安心して暮らせるまちを目指すとともに、人との絆や助け合いの精神も伝えていきたいですね。

防災士　原田さん

ひかり
みらいづくり
メソッド

# 安全・安心都市宣言

まち
づくり

## 2つの
## 市立病院

地域の急性期医療の中核であり、緩和ケア病棟も有する「光総合病院」と、回復期・慢性期医療を中心とする「大和総合病院」の2つの市立病院による充実した医療体制を整えています。地域のさまざまな医療ニーズに対応し、市民の健康と暮らしをサポートしています。

ひと
づくり

## 最先端の
## 総合防災情報システム

観測データから洪水や土砂災害の危険性の予測などができる市独自の防災情報システムを運用しており、防災ポータルで情報をまとめて確認することができます。システムを活用した迅速で的確な対応に加え、地域防災の要となる自主防災組織や防災士との連携により、市民の安全を守っています。

ものづくり

## ミネラルウォーターに
## 匹敵するおいしい水道水

島田川の地下を流れる伏流水を原水とする光市の水道水は、自然のろ過作用により、ミネラルウォーターに匹敵するおいしさで、その豊富な水量は夏季でも枯渇することが少ないことが特徴です。市民生活を支える重要なライフラインである島田川の良質な水を変わることなく各家庭に届けています。

# ひかりの未来

ひかりの「まち」「ひと」「もの」を未来へとつなげていくため
さまざまな取組を展開しています

## 未来×まちづくり

### 新産業団地

周防工業団地と大和工業団地の間に、新たな産業団地を整備する取組を進めています。地域経済の活性化や雇用の創出、移住・定住など、さまざまな効果が期待されます。

### 光駅周辺地区の整備

光駅を中心に、まちの玄関口にふさわしい魅力ある都市空間づくりに取り組んでいます。現在、駅のバリアフリー化や新たな南北自由通路、駅前広場の整備に向けた取組を進めています。

## 未来×ひとづくり

小中一貫教育では、小・中学生が一緒の行事や活動を行い、教員が相互に乗り入れ授業をするなど、小中のなめらかな接続に配慮した取組を展開しています。

### 小中一貫ひかり学園の推進

令和2年度から、現在の中学校区の小・中学校をひとまとまりとして、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を開始し、義務教育9年間で連続性のある質の高い教育を推進しています。その教育効果をさらに高め、こどもたちにとって望ましい教育環境を整備するため、小・中学校の施設が一つになった「施設一体型小中一貫ひかり学園」の新設に向けた取組を進めています。

## 伊藤博文公の遺徳継承

初代内閣総理大臣の伊藤博文公は光市の生まれであり、その遺徳を伝える施設や面影が数多く残っています。

伊藤公記念公園内には、伊藤公の遺品などとともに幕末から明治末までの日本の動きを学習できる伊藤公資料館をはじめ、伊藤公自らが基本設計した旧伊藤博文邸、伊藤公の産湯に使われたとされる井戸、幼少期に登って遊んだとされる柿の木（二世）、生家（復元）など、その生涯や業績を今なお物語っています。

さらに光市では、伊藤公の功績の一つである憲法制定や外交交渉にも寄与した語学力やコミュニケーション能力を次世代のこどもたちに継承していくため、英語スピーチコンテストを実施しています。

数え年9歳までこの地で過ごし、地元には数多くのエピソードやゆかりの地が残っており、訪れるだけで当時のロマンと伊藤公の足跡に触れることができます。

伊藤公の卓越した英語力にちなみ、伊藤公カップ英語スピーチコンテストを開催しています。小学5・6年生から中学生まで、自分の思いや考えを英語でスピーチすることで、表現力やコミュニケーション能力の向上を図っています。

# 未来×ものづくり

## 武田薬品工業

武田薬品工業は「すべての患者さん（Patient）」、「ともに働く仲間（People）」、「いのちを育む地球（Planet）」のためにデータとデジタルの力でイノベーションを起こすことを約束しています。昭和21（1946）年開設の光工場は、最新技術と知識を集積したグローバル製造拠点の1つとなっています。

## 日鉄ステンレス

日鉄ステンレスは国内最大の総合ステンレスメーカーで、昭和30（1955）年に八幡製鐵（現日本製鉄）の光製鐵所として開設後、現在はステンレス鋼の主力工場として事業展開しています。世界屈指の技術力で私たちの生活を支える商品を生み出しています。

## カンロ

カンロは日本を代表する菓子メーカーで、大正元（1912）年に宮本製菓所として光市で創業。ひかり工場ではロングセラーの「カンロ飴」や「金のミルク」など多くの人に愛されている商品を製造し、「心がひとつぶ、大きくなる瞬間」を提供しています。

# HIKARI HISTORY

光市が歩んだ20年の足跡
さまざまな出来事を振り返り、新たな一歩を踏み出します

20年の記念すべき第一歩

## 2004

### 新市誕生

10月4日、旧光市と大和町の1市1町が合併し、新「光市」が誕生。

## 2011

### 里の厨オープン

地産地消の推進や新たな地域産業の創出、生産者と消費者の交流促進などをめざし、農業振興拠点施設「里の厨」がオープン。

## 2012

### ゆーぱーく光オープン

大浴場、家族風呂、サウナなどを備えた三島温泉健康交流施設「ゆーぱーく光」がオープン。

## 2014

伊藤公の「光」を訪ねて

### 伊藤公に続け!! ひかり「夢大使」ロンドン研修

グローバルな視点で地域に貢献できるリーダーを育成することを目的とした「ひかり“夢大使”」事業を実施。市内中学生6人が伊藤公が留学したロンドンで研修。

### 学校給食センター竣工

調理能力は1日最大4,500食で、全国でも珍しい製パン設備を整え、生地から作ったパンを提供できる学校給食センターが完成。

## 2015

### 世界のボーイスカウトをおもてなし

第23回世界スカウトジャンボリーが山口県で開催。世界から集まったボーイスカウトを「和の精神」でおもてなし。光市実施プログラムでは、ひかり太鼓保存会の演奏や学校での交流、海水浴などを通じて本市の魅力を発信。

## 2017

### 市内すべての防犯灯をLED化

県内初の試みとして、市内の防犯灯約5,000灯をLED化して$CO_2$の排出を抑制。

## 2018

忘れられない記憶

### 平成30年7月豪雨

西日本を中心とした記録的な大雨により、島田川が越水し、多くの住家が浸水。懸山の山腹崩壊により山陽本線が柳井駅～徳山駅間で運休となり、通勤や通学に甚大な影響が発生。

## 2020

### 島田川工業用水道への給水開始

周南地区の産業振興と地域経済のさらなる発展のため、島田川の水を工業用水として周南地区に給水開始。新たな財源はこどもたちの医療費の負担軽減に活用。

地域経済を支える産業の血液

### 光高校・光丘高校統合

山口県立の光高等学校と光丘高等学校が再編・統合され、光高等学校の現地に新たな光高等学校が開校。

## 2019

### 虹ケ浜で まちぐるみWedding開催

抽選で選ばれたカップルが多くの人に祝福されながら、市長立会いのもと、人前結婚式を挙行。

### 光総合病院が新築移転

光総合病院が虹ケ浜から光ケ丘に移転。

## 2021

県内トップクラスの早さ

### 新型コロナウイルスワクチン接種

新型コロナウイルスワクチン接種の対応が全国で進められるなか、光市は市医師会などと連携し、県内他市町に先駆けてワクチンの接種体制を整備し、接種を推進。

## 2023

### スポーツ各競技で光市ゆかりの選手が躍動

光高等学校の硬式野球部は春のセンバツに出場し初勝利。また、ヨット部はインターハイ女子の420級とコンバインドで優勝。杭州アジア大会の柔道競技で田中志歩選手が金メダルを獲得。日鉄ステンレス硬式野球部が社会人野球日本選手権大会に出場。

## 2024

公共交通を乗って守る

### 新規路線バスの運行開始

中国ジェイアールバスが市内バス路線を廃止。防長交通と周南近鉄タクシーが新たなバス路線の運行を開始。

### 防災庁舎運用開始

地震をはじめ、風水害などあらゆる自然災害に的確に対応できる防災庁舎を整備。

光市新市誕生
20周年記念
特別企画

直木賞受賞作家

# 角田光代

Mitsuyo Kakuta



Profile

**角田 光代** Kakuta Mitsuyo

1967年、神奈川県生まれ。90年「幸福な遊戯」で海燕新人文学賞を受賞し、デビュー。著書に『対岸の彼女』(直木賞)、『八日目の蝉』(中央公論文芸賞)、『紙の月』(柴田錬三郎賞)など、多数。

# 光あふれるまち

光市のことを知ったのは、私が選考委員をさせていただいている「ふるさとイベント大賞」がきっかけである。光市で行われている「まちぐるみWedding」が、ふるさとキラリ賞を受賞したのである。抽選で一組のカップルを選び、彼らの結婚式をまちぐるみで祝福するという、じつにかわったイベントである。この受賞がきっかけで、光市に呼んでいただいた。私にとって光市もはじめてだけれど、山口県を訪れるのもはじめてである。

まず案内していただいたのは、市内の農園。きれいな水と日差しで日本産のバナナを作っている農園である。私はここではじめて木にたわわに実るバナナを見た。20人くらいのかたがたといっしょにバナナ生産についてのお話を伺い、参加者全員で食べ頃のバナナをいただいた。

そこから移動して、鉄工所に向かう。鉄道や車両の部品を、ひとつひとつ手作りで仕上げる鉄工所である。お話を伺うと、その長い試行錯誤、精密で緻密な作業、徹底したこだわりに、気が遠くなる思いだった。

この工場の屋根から、まちと海が一望できる。振り返れば山々が連なっている。見学者のみなさんと、こどもみたいに屋根に上がって、日差しにきらめく海を眺めた。私が見知った海よりずっと広く思えるその海を見て、ここが「光」という名を持つまちだとあらためて気づく。

くだんの結婚式にも参加させていただいた。まだあかるい夕方、ガーランドやお花の飾られた屋外に、客席とステージが用意され、市民吹奏楽団の演奏で式がはじまる。新郎新婦は中学校の同級生で、ともにバスケ部だったそうだ。ガーランドには、地元のこどもたちによる手書きメッセージが書きこまれ、こどものダンスチームはバスケの動きを取り入れたダンスを披露した。大勢の人の本気の祝福に感激し、涙もろい私は、新郎新婦の親族でもないのに泣いてしまった。

たった一泊の短い旅だったけれど、光市で見た景色を思い出すと、すべて光があふれている。農園に、海岸に、山の稜線に、まちの光景に、屋外の結婚式に、案内してくださった多くの人たちの笑顔に、うつくしい光が降り注いでいる。

# Information

## 市民フォトグラファー養成講座

光市勢要覧の作成に当たり、市民目線で光の魅力を紹介するため、フォトグラファーを公募し、写真撮影にご協力いただきました。プロカメラマンによる講座を受け、より洗練された数多くの素晴らしい写真を提供いただき、よりすぐりの作品を本誌に掲載しています。市民フォトグラファーが見つけた光あふれるまちの美しい光景やキラリと輝く幸せな日常のひとときをご覧ください。

インスタで写真をcheck!

「#ひかりの光」で投稿しよう!

### Special Thanks

| | | | |
|---|---|---|---|
| 内村 肇 | 菅光 さくら | 原田 浩 | 山崎 淳 |
| 加藤 幸子 | 寒川 哲男 | 平本 典利 | 山本 恵美子 |
| 熊本 和子 | 髙橋 陽子 | 星出 知恵美 | 山本 康平 |
| 五箇野 湧大 | 田中 孝裕 | 松岡 弘明 | ライオン・ジミー |
| 重田 香織 | 秦 叔孝 | 松本 興二 | |
| 嶋中 香織 | 濱田 匠 | 宮内 研二 | [敬称略] |



## ▼地勢

光市は、山口県の東南部、周南工業地帯の東部に位置し、瀬戸内海国立公園を一部に含む自然景観が優れた人口約4万8,000人の都市です。市域東部には由緒深い古代の史跡とともに豊かな広葉樹林が広がる石城山があり、北西部を島田川が貫流して周防灘に注ぎ、中心地域は河口デルタを形成して、その両端に西日本を代表する海水浴場として知られる室積・虹ケ浜海水浴場の白砂青松の海岸が広がっています。

気候は温暖な瀬戸内式気候であり、全国でも屈指の日照時間を誇る「晴れ」のまちです。

このような山・川・海に囲まれた自然的地理条件は、市民の良好な居住環境となり、さらには、産業活動を進めていく上でも優れた条件になっています。

## ▼沿革

明治22年に市制町村制が実施された当時、現在の市域には、浅江、岩田、塩田、島田、周防、束荷、三井、光井、三輪及び室積の10村がありました。

室積村は明治39年にいち早く町制を敷くとともに、昭和14年に海軍工廠の建設を契機に浅江、島田、三井及び光井の4村が合併して周南町となり、翌年には、町名を光海軍工廠の命名に合わせて光町に改名しました。

昭和18年には、光町と室積町が合併し、旧光市が誕生（昭和30年に周防村と合併）するとともに、岩田、塩田、束荷、三輪の4村の合併により大和村（昭和46年に町制施行）が誕生しました。

平成16年10月4日、古くから歴史的・経済的なつながりが強く、日常生活や教育文化など多くの分野で交流のあった旧光市と大和町は、分権時代の新たな行政ニーズに対応すべく合併し、新「光市」としての第一歩を力強く踏み出しました。

## ▼市章

光の文字をデザイン化したもので、市民のふれあいと光市の躍動感を表現しています。

## ▼市の木：クロマツ

風や飛砂などから人々の生活を守ってきた室積・虹ケ浜海岸のクロマツは、先人から引き継がれてきたまちの宝で、その美しい景観から、日本の白砂青松100選や日本の名松100選などに選定されています。

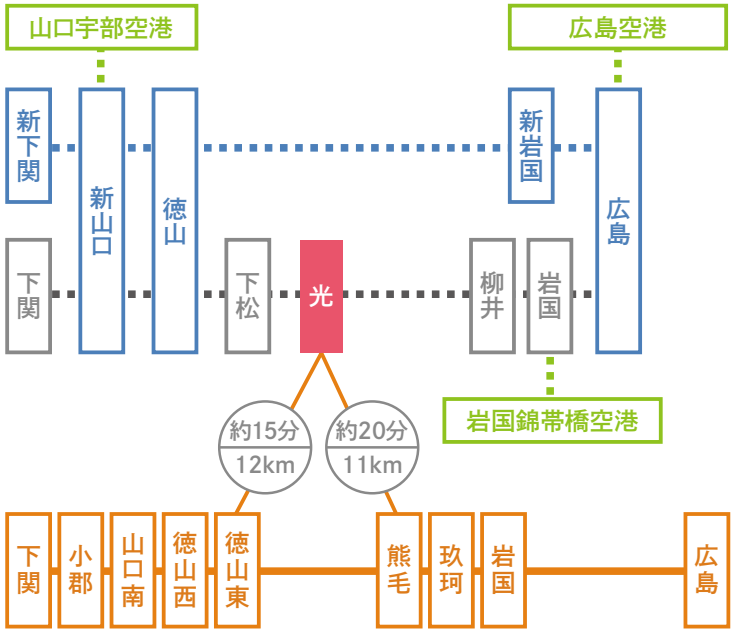
## ▼市の花：ウメ

降り注ぐ陽光の下、豊かな自然を有する明るいまちのイメージと合致するウメ。県内でも有数の梅の名所である冠山総合公園梅の里には、約100種類2,000本の梅の木が植樹されており、多くの人が訪れます。

# Access

▼光市の位置

▼アクセス図




▼アクセス情報

**飛行機**
●岩国錦帯橋空港からは、JR岩国駅経由で。
山口宇部空港からは、JR新山口駅経由で。
広島空港からは、JR広島駅経由で。

**新幹線 在来線**
●JR徳山駅下車、山陽本線岩国方面に乗り換え、JR光駅（約15分）へ。

**マイカー**
●山陽自動車道　▶広島方面：熊　毛I.C～JR光駅（11km―約20分）
▶九州方面：徳山東I.C～JR光駅（12km―約15分）

▼アクセス情報

| | | | |
|---|---|---|---|
| 周南近鉄タクシー | 0833-72-0123 | 防長バス | 0833-43-2200 |
| 西部光タクシー | 0833-71-0001 | JR光駅 | 0570-00-2486 |
| 大和タクシー | 0820-48-2050 | 牛島海運 | 0833-72-1420 |
| 岩田タクシー | 0820-48-2050 | | |

ひかり、みらい

**光市勢要覧**

発　　行：山口県光市
発行年月：令和6（2024）年10月
住　　所：〒743-8501　山口県光市中央六丁目1番1号
編　　集：ジャパンインターナショナル総合研究所

公式サイト

光つながりサイト

YouTube